



韓国初ツアー
在日ブルース歌手

あらい えいいち
新井 英一さん

日本と韓国の距離は

お互いの心の距離

の時、初めて「朝鮮人」ときげすまれた。15歳で家出。そのころ、父を亡くした。この事件を描いた日本映画が昨夏、韓国で初上映され、挿入歌の「清

丸」が沈没、祖国に帰ろうとしていた朝鮮人労働者ら500人以上が死亡した。この事件を描いた日本映画が昨夏、韓国で初上映され、挿入歌の「清

丸」が沈没、祖国に帰ろうとしていた朝鮮人労働者ら500人以上が死亡した。この事件を描いた日本映画が昨夏、韓国で初上映され、挿入歌の「清

丸」が沈没、祖国に帰ろうとしていた朝鮮人労働者ら500人以上が死亡した。この事件を描いた日本映画が昨夏、韓国で初上映され、挿入歌の「清

丸」が沈没、祖国に帰ろうとしていた朝鮮人労働者ら500人以上が死亡した。この事件を描いた日本映画が昨夏、韓国で初上映され、挿入歌の「清

「いつかおやじの国で、ずっと暮らそう思っていた」代表作「清河への道」から7年。念願の韓国ツアーが実現する。

父の生まれは韓国東岸の村、清河。自身は日本で生まれ育った。小学生

くした。荒れた生活の中で出会ったのがブルース。父の故郷を訪ね、「清河」を聴いた人々から公演を望む声が上がった。

韓国は一昨年、日本歌曲の公演を全面解禁した。日韓共催のサッカーW杯も間近だ。西国は「近くて近い国」になるのか。

終戦直後。京都府の舞鶴で海軍輸送船「浮島」



歴史の負わせた傷の深さ。しかし、傷は時代が癒やしていく。世代を超えた交流の中で

40代で日本国籍を取った。「根を下ろす覚悟を

釜山やソウルを巡り、最終日には清河の学校校庭から、両国語で父祖の山々に思いを響かせる。

文と写真・野上哲

福岡市生まれ。半生を歌い上げた「清河への道～48番」は85年、レコード大賞アルバム大賞。52歳。